

グローバルイノベーション創出支援事業 平成29年度主なイベント・プロジェクトの 事例紹介について



国際イノベーション会議Hack Osaka 2018

目的・概要

海外で活躍する若手起業家や大阪イノベーションハブが支援した起業家を紹介するなど、大阪におけるイノベーション創出の取組みと成果を国内外に発信。若者をターゲットに起業家マインドの醸成もめざす。

【概要】

メイン会場: 基調講演(海外で活躍する若手起業家による講演)、グローバルチャレンジャーズトーク(グローバルに活躍する日本人若手起業家による講演)、パネルディスカッション(海外のイノベーション先進取組み事例紹介)、国際ナショナルピッチコンテスト(Hack Award)

サブ会場: スタートアップ企業による展示会、関西Student Pitch Grand Prix(各大学のピッチ大会を勝ち抜いた9校の学生によるピッチ)、ベンチャーキャピタル等とのスピードデーティング

参加・実施状況

- ・開催日時: 平成30年2月27日(火) ・来場者 約700人
- ・関西の各大学で実施したピッチ大会の勝者が出場する「関西Student Pitch Grand Prix」を初開催。
- ・JETRO Innovation Program 深センの深セン側パートナーLeaguerXとの間でMOUを締結。
- ・Monodukuri Hardware Cupの日本予選を昨年に引き続き実施。優勝者はピッツバーグの決勝戦に出場。
- ・大阪市のBPCネットワーク、OIHがネットワークを有するテルアビブ・フランス・深センから推薦されたスタートアップ8社を含む10社がHack Awardに出場。
- ・翌日には、JETRO等と共催し、Hack Awardに登壇した海外企業に対して日本の大手企業との商談会を実施。



大学発ベンチャー創出会議 (テックミーティング)

目的・概要

- ・国立大学ファンドでは、シードスタートアップへの支援や研究シーズの事業化支援を行っているが、スタートアップの安定的操業や事業立上げには販路拡大や経営人材確保など課題がある。
- ・今回、国立大学ファンドの取組みを紹介するとともに、ファンドの投資先ベンチャーまたは技術シーズを紹介することで、それらと起業家人材等との交流を図る。

参加・実施状況

開催日時: 平成30年2月26日(月)

開催場所: グランフロント大阪B2F コングレコンベンションセンター

内容: ①国立大学ファンドの紹介、パネルディスカッション
京都大学イノベーションキャピタル(京都iCAP)
大阪大学ベンチャーキャピタル(OUVC)

②大学発ベンチャーピッチ
OUVC投資先ベンチャー企業2社

③研究成果の事業化に向けた取組み紹介
大阪大学 情報科学研究科

参加対象: 起業を志す方、大手企業の新規事業担当者、
中小企業経営者・後継者、マスコミ関係者など

参加者数: 87名

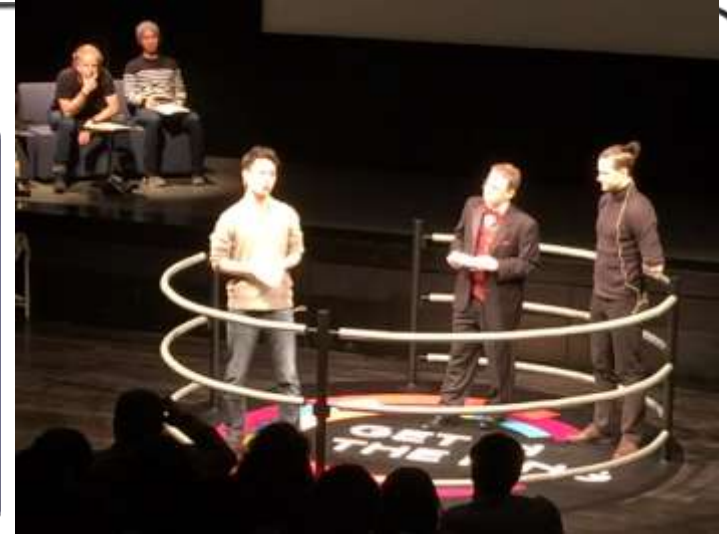
その他: 本イベントは、2月26、27日に開催されたイノベーションストリームKANSAI 2018(主催:うめきた2期みどりイノベーションの融合拠点形成推進協議会)の一環で実施。



Get In The Ring Osaka 2018

目的・概要

- ・2012年にオランダで始まったスタートアップの国際ピッチコンテスト
- ・ボクシングリングに見立てたステージで1対1によるピッチバトル
- ・昨年から日本予選をOIHで開催し、今回で2回目の開催
- ・参加スタートアップは、オランダの本部に情報が登録され、海外展開のチャンスが広がる。
- ・参加者全員にVCや企業との個別面談時間を用意
- ・OIHが「世界へつながる場」であることをプロモーション



実施状況

- ・開催日時: 平成30年2月28日(水)
- ・来場者230人
- ・最終審査合格18社(申込みは23社有)
- ・決勝進出は6者(ライト級4者、ミドル級2者)
- ・ライト級優勝者(評価額5千万円未満)
MARUI-PlugIn
(VR/AR空間での3Dデザイン作業を可能にするソフトウェア開発と販売)
- ・ミドル級優勝者 Trillium Secure
(車載向けサイバーセキュリティのソフトウェア開発と販売)



グローバル展開に向けての取り組み

ジェトロ・イノベーション・プログラム(JIP)深セン

目的・概要

- ・ジェトロ大阪本部と初共催。
- ・イノベティブな技術・製品・ビジネスモデルを有する中堅・中小・ベンチャー企業の海外へのビジネス展開を支援するプログラムであり、日本国内特許・実用新案・意匠・商標といった知的財産権を有した中堅・中小企業が対象に実施。
- ・ブートキャンプ・メンタリング・ピッチに参加した企業から深センでピッチ及び深センHigh Tech Fairにおいて出展する企業(10社)を決定した。

深セン側パートナー: 深セン清華大学研究院

深セン市政府と清華大学が50%ずつ共同出資して設立。
「産学研資」機能をもつ事業単位(政策実施機関)で、技術交流、知財運用分野において、20年以上の経験を有する。



参加・実施状況

ブートキャンプ・メンタリング・ピッチ:

平成29年8月30日、31日、9月8日

参加企業: 13社

深センハイテクフェア出展 11月15日から17日、うち15日はピッチ

参加企業: 10社 (うち大阪5社、東京3社、岡山1社、神奈川1社)

主な分野: 電機電子、IoT機器、先端素材、リハビリ用VR機器や、地震探知機等

参加目的: 量産化や資金調達、サプライチェーン発掘等

目的・概要

創業前後のベンチャー企業に対し、起業経験者や、オープンイノベーションを志向する大企業、VC、メディア等が連携して支援することで、事業化を加速(アクセラレーション)させ、関西のイノベーション創出力の強化をめざす

【概要】

- ・1クール4ヶ月間で、支援プログラムを実施。
- ・メンター陣による各種勉強会や、個別メンタリングにより、ビジネスモデルをブラッシュアップ
- ・VCとの集中メンタリングや、大企業とのネットワーク構築機会の提供、デモデイ等により、投資や事業連携をめざす
- ・成果として、事業連携または資金獲得を目指す

参加・実施状況

第4期:11月から2月

支援企業数:10社

実績:資金調達2件、8,000万円 (これまでに計4期、40社の支援を実施、総額24億円を超える資金調達に成功)
大企業等との事業提携 1件 (これまでの総計としては、19件提携済)
メディア露出件数:13件



第4期採択企業名	事業内容(要約)
株式会社アートログ	誰もが、いつでも、どこからでもアートを楽しめるアートドミナントサイト「ARTLOGUE(アートログ)」を運営
株式会社英知継承	高度シニア技術者250人から最適な人材をアサインし、企業の課題に応じた技術アドバイスを行うアドバイザー事業
株式会社Compass	チャットボットを利用した低所得者特化型オンラインキャリアカウンセリング&人材マッチングサービス「CHOICE!」
知能技術株式会社	老朽化プラント災害をAIセンサとロボットで防ぐクラウドサービス
ACALL株式会社	来訪者に新しいおもてなし体験を提供し企業と顧客のリレーション強化に貢献する、オフィス向け ビジターマネジメントサービス「ACALL(アコール)」を展開
株式会社フローウィング	インターネット上でサプライヤーとショップをつなぐ流通プラットフォーム「FLOW(フロー)」
株式会社MARUI-PlugIn	VR/AR空間上で3Dデザインや編集作業ができる次世代ソフトウェア「MARUI-PlugIn」
株式会社ユーザーバンク	買い手探しに苦勞している中古物件の不動産事業者と、希望に合った物件を探したい購入希望者をマッチングするWEBサービス「Lifegram(ライフグラム)」
株式会社レアリスタ	訪日外国人の困りごとを解決する1分動画配信メディアDive Japan - 1minute Travel Guideを運営
株式会社 レイソルテクノロジーズ	レーザーによるコンクリート構造物内部探傷技術システム開発及び実業化をめざす

socialis

サービス内容

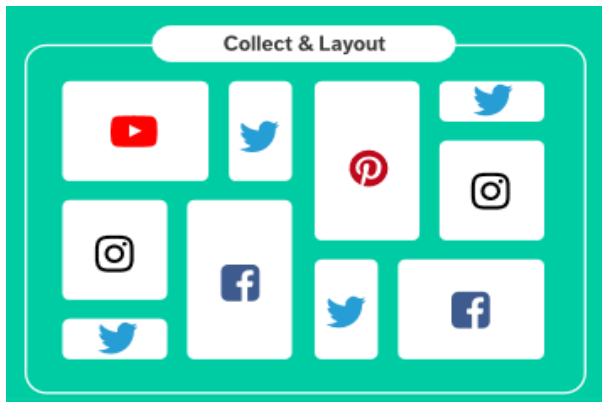
- ・さまざまなSNSを閲覧・まとめることに特化したSNSビューワー
- ・気になる、おもしろいと思った投稿をまとめ、みんなに公開する機能も搭載

経過

- ・OIHで出会った社会人を中心にチームビルディング(7名)
- ・平成29年11月、大阪市内に株式会社ソシャリスを設立
- ・OIH内の作業スペース「Innovation Base」を活用して定期的にミーティング

今後の予定

- ・平成30年春、PC版/iOS版 正式リリース予定(現在、事前登録受付中)



OIHの支援

- ・平成29年7月にOIHスタッフが日本政策金融公庫を紹介するなど、主に資金面でメンタリング



音声認識による歯科電子カルテ自動作成システム

サービス内容

- ・診療中の歯科医師の発話音声認識し、自動で電子カルテを作成する
- ・面倒なPCの入力作業を省き、電子カルテを容易に、かつリアルタイムに作成することが可能となる

経過

- ・GEIOT(奈良先端科学技術大学院大学のグローバルアントレプレナー育成プログラム。OIH共催) 3名のチームメンバーによるプロジェクト。(大学院生2名、社会人1名)
- ・平成29年度、GEIOTは9回のプログラムをOIHで開催(平成30年度もOIHで開催予定)
- ・立命館大学 学生ベンチャーコンテスト2017 最優秀賞
- ・ビジコン奈良2018決勝大会 審査委員長賞
- ・第19回キャンパスベンチャーグランプリ大阪 近畿経済産業局長賞

今後の予定

- ・プロトタイプは完成している
- ・今後、連携先の探索や資金調達に向けての活動を実施していく

OIHの支援

- ・OIHが奈良先端科学技術大学院大学と共催で実施した教育プログラムによって、チーム組成、プロジェクト創出
- ・チームメンバーのうち2名がOIHの香港・深セン海外ワークショップツアーに参加



Code for OSAKA

Code for OSAKA

概要

- ・地域の課題をITで解決するCivic tech活動を行う団体
- ・大阪の街をITの力でより良くしようと活動
- ・エンジニア、デザイナー、行政、大学・学校関係者など、様々なメンバーが所属

活動内容

- ・月に1度の定例会をOIHで開催
- ・ワークショップ・アイデアソン・ハッカソン等のイベント開催
- ・サービスやアプリケーションの開発
- ・行政との連携



フェリーハッカソンの様子(平成29年12月1日～3日開催)

○ OIHで活動するコミュニティ②

Developer Circles Osaka from Facebook

概要

- ・OIHの学生スタッフがコミュニティーリーダーとなって日本で初立ち上げ。2018年3月4日にローンチイベント（参加者98人）
- ・Developerが最先端の技術について議論し、次のイノベーションを起こすプロダクトを作っていくためのエンジニアコミュニティであり、Facebookの全面的支援により開催されているプログラム
- ・既に世界中で展開されているプログラムで、それぞれの都市のDeveloperがハッカソンやセミナーなど活発に活動
- ・エンジニアのOIHへの巻き込みが期待できる

活動予定

- 4月 プログラミング言語についての解説とエンジニアの世界の導入
- 5月 Facebook F8希望者シリコンバレー F8報告会
- 6月 Hackathon
- 7月 プロダクト開発についての解説
- 8月 Facebookエンジニアによるセミナー
- 9月 OIH Singapore Program
- 10月 海外Developer Circlesとの交流イベント等
- 11月 Community Challenge
- 12月 Developer Circles Party



Developer Circles Osaka
Launch Event from facebook

Sunday 4 March 2018

Free Event
Let's join us!!
OSAKA INNOVATION HUB

Speakers:

- Elisba Tan
Developer Program Lead, Facebook APAC
TechLadies Founder
- Kim Weng
Facebook Partner Engineer
- Nobuyuki Minoda
Mitsubishi Research Institute Consultant
- Yakuyuki Onoz
Developer Circle Osaka Lead
- RonitX Linder, Kyoto University MBA

Osaka Innovation Hub
15:00 - 15:15 Registration
15:15 - 16:15 launch speech
16:15 - 16:30 break
16:30 - 17:30 Engineer seminar by Facebook
17:30 - 18:30 Meet up with food

